



事業 灯台の灯りで未来にツナゲルプロジェクト

コンソーシアム名：灯台からのメッセージ運営委員会

対象灯台：大バエ鼻灯台・生月長瀬鼻灯台（長崎県平戸市）

企画概要

事業名：灯台の灯りで未来にツナゲルプロジェクト

2022年度、2023年度の活動を経て、次年度以降も大バエ鼻灯台と生月長瀬鼻灯台を基軸として、生月島平戸市、県北地方を活性化するべく、この2つの灯台を繋ぐ乗り物「イキトゥキ」（トゥクトゥク）の導入。イベントを実施し人々が集えるような場所にすること。灯台の魅力をもっと一層人々に伝えることができるよう次年度以降のために、人々の繋がりと手段を準備し、灯台園地の整備を行います。



2つの灯台を繋ぐ乗り物 トゥクトゥキを導入！

2つの灯台を繋ぎ、生月島全体を楽しみ尽くすための捕物トゥクトゥクを導入しました。島の人々の希望で名前は「イキトゥキ」大人も子供も楽しめる7人乗りです。



初の灯台ナイトカフェ開催

大バエ鼻灯台で初となる灯台ナイトカフェを開催しました。夕焼けや灯台のあかり、岩礁を照らす照射灯、星空、漁火。灯台の魅力をもっと満喫するイベントとなりました。



地元活性化を提言し、灯台園地の整備を行います

次年度以降イベントの定期開催のために地域の活性化を提言するための住民説明会を2度開催し、園地の生垣を撤去し新たに（崖側の）柵を設けて安全に楽しめる空間づくりをします。



地元住民の一体感を創造する

長崎県平戸市生月島にある2つの灯台「大バエ鼻灯台」と「生月長瀬鼻灯台」は、素晴らしい景観に恵まれ、見た目も美しい灯台でありながら、地元住民はじめ周辺地域の人々との繋がりがあまり構築されていなかった。



灯台を基軸とした魅力発信

前回までのイベント等の実施により2分化されていた島が1つになり、灯台を基軸に島の魅力をアウトプットすることができた。灯台周辺の整備とツールを準備すれば今後も島が一丸となって、灯台と生月島の魅力を発信していくことができる。



目標

Plan / 計画時点

2灯台間を繋ぐレンタルライト（電動キックボードなど）の購入、2024年11月頃目標。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

8月に7人乗り「トゥクトゥク」（中古）を購入、地元の方々に「イキトゥキ」と命名。大人も子供も楽しく、皆さんに愛される存在になってきています。

Plan / 計画時点

今後定期的に開催するイベント（灯台ナイトカフェ）の指針となるイベントは8月末もしくは9月頃実施目標。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

2024年9月7日・8日に開催。目標集客50～100名のところ、連日100名を超える人々で賑わい、イベント自体も大変好評で、早くも次回開催を期待する声が多かった

Plan / 計画時点

灯台周辺の整備は申請から承認まで2～3ヶ月を要するため、2024年11月頃目標。一部の実施内容については許可申請の都合上2025年になる可能性もありうる。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

環境省より無事に認可をいただき、生垣の撤去、ウッドテラスとガビオン柵の設置工事を行っています。

企画運営パートナー

1

平戸市

本年度も平戸市長 黒田成彦氏に理事長を務めていただいています

2

平戸市観光課

灯台前広場の整備等の申請について、共に協議しています

3

平戸市生月支所

住民説明会、灯台ナイトカフェ、開催のボランティアなどご協力

4

生月地区まちづくり運営協議会 館浦地区まちづくり運営協議会

地元住民の方々への協力依頼や実務応援など



地域全体による協力体制

1

平戸市 **》》》 平戸市長が今期も理事長に就任**

市長が理事長を務めてくれていることにより、より強固な地元の協力を得られている。

2

平戸市観光課 **》》》 灯台周辺の整備について相談**

観光課を中心に、環境省への申請方法などアドバイスをいただいたり申請に必要な書類の準備などご協力いただきました。

3

平戸市生月支所 **》》》 住民説明会・イベント開催の協力**

現実的に必要な細かい部分。モノの貸し出し、人の手配などご協力いただきました。

4

生月地区まちづくり運営協議会 **》》》 協力依頼や実務応援**

協議会の場所をベースに使用させていただき、実務的な部分をサポートいただきました。

👍 良かったこと



👍 8月25日に開催した住民説明会では、イベント以降中心となって動く株式会社ガッタライの2人によりこれからの生月島についての熱い思いを伝えると共に、地元の方々のご意見をたくさん聞くことができた



👍 住民説明会の際に導入した2灯台をつなぐのりもの「イキトゥキ」の試乗会を開催。大人も子供も楽しくはしゃいでこの乗り物への愛着と一体感を産むことができた



反省点・改善案



地元が一体となって活性化が生まれているこの活動をなかなかメディアに取り上げてもらうことがなかった。

事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

01

事業活動その1

2つの灯台を繋ぐ乗り物の導入

事業活動その1：2つの灯台を繋ぐ乗り物

海の風を感じながら2つの灯台の間を繋ぐ非日常的な乗り物の導入

2024年8月、い2灯台の間を繋ぎ生月島を楽しみつくす
7人乗りトゥクトゥク（中古）を購入しました！
生月にちなんだ「イキトゥキ」命名し、観光客はもち
ろんいつでも誰でも利用できる楽しい車両です。
今後の管理は株式会社ガッタライで請け負います。



生月にちなんだネーミングで愛着を生む

当初予想していた以上に地元の子供達だけでなく、大人たちも大はしゃぎで試乗会では大人気、
今後は観光客や地元のグループだけでなく地域の行事でも活躍予定です。

2灯台の間を繋ぎ生月島を楽しみつくすトゥクトゥク「イキトゥキ」 (生月島みんなの乗り物)

1 ネーミングはイキトゥキ

8月25日に開催した住民説明会にて試乗会を実施し、地元皆様のご意見により「イキトゥキ」と命名。

2 管理運営はガッタライ

株式会社ガッタライが管理運営し、現在は大バエ鼻東大近くの（ガッタライが運営する）キャンプ場に保管。将来的には島の入り口付近の施設に保管し、より多くの方に運用してもらえよう検討中

3 レンタル費用は格安で

利用料金90分 3,300円 3時間 5,500円 6時間 7,700円
(7人乗り オートマ) ※1台当たり。保険代含む。ガソリン代別途(返却時満タン)※超過料金/30分1,100円

4 利用目的は多種多様

利用については観光客、地元の人、申し込みをすれば誰でも利用可能。オンライン予約できるよう準備中。



👍 良かったこと



非日常の乗り物で大人も子供も大はしゃぎ、子供たちは何度も何度も乗せてもらって賑やかにはしゃいでいました。
この風を感じながら「イキトゥキ」で2灯台の間のサンセットウェイをみんなで楽しく乗ることで、島の人々に一体感が生まれ島の魅力を再認識できると確信します。



反省点・改善案



予想以上に好評のため、1台ではなく2台の導入を検討すべきかもしれない。
今後の運用の状況で検討の余地があると考えます。

02

今後のための試験的イベント
「灯台ナイトカフェ」開催

事業活動その2：灯台ナイトカフェ試験開催

大バエ灯台での初の試み「灯台ナイトカフェ」を開催
灯台の魅力の再発見 と 問題点の検証

実施日2024年9月7日（土）、8日（日） 16時～20時



事業活動その2・灯台ナイトカフェ試験実施

1 駐車場～灯台間 イキトゥキにて送迎

前回、前々回のイベントでは駐車場～灯台の間をシャトルバスを運行させた
が、今後もナイトカフェでは小規模で多回数実施を想定するため7人乗りの
イキトゥキを送迎として運行

2 おしゃれなインテリアを 配置し、雰囲気づくり

屋外で使用できるおしゃれなテーブル＋ソファ、
ブランコなどを配置し、居心地のよい空間・雰囲気づくりに努めた。
導入したインテリアは次回以降も活用予定。

3 時間と共に変化する風景 と灯台の灯りを堪能

夕暮れ～日没～灯台の灯りの点灯～月や星の光～灯台の照射灯～
漁火、時間と共に変化するドラマチックな景観を堪能。



👍 良かったこと

- 👍 地元の人でも灯台の光を見る機会がこれまでなかったため、改めて灯台の魅力を知るきっかけとなった。
- 👍 灯台だけではなく時間と共に変化する景観の美しさに、こんなに素敵な場所だったのかと再認識してもらうことができた
- 👍 次回以降の開催への期待感が膨らんだ。
フードドリンクの売り上げも好調で事業としての手応えを実感できた



反省点・改善案



会場内にはトイレがないため、このまま離れた駐車場を使うのか、仮設トイレを都度設置するのか悩ましい。



配置したインテリアの毎回の搬出入の手間と労力の改善を検討したい

顧客ターゲットと 提供するベネフィット

メインターゲット

1 長崎県北地区および佐賀～福岡のファミリー層

平戸市のみではなく、佐世保市、佐賀県、福岡県など近隣のドライブ好きのカップルやヤングファミリー層

サブターゲット

2 景観に癒されたい観光客

大バエ鼻灯台は普段でも観光客が絶えない。現状は10分程度。夕暮れ～夕日～灯台の灯りを楽しんでもらえる環境づくりをしたい。

3 オプション的コンテンツを求めるキャンパー

キャンプ場からの遊歩道を活用して灯台へ呼び込む

4 映え写真を求めるバイカー

バイカーはのSNSへ灯台の映え写真を定着させたい。



知ってそうで知らなかった灯台の灯りの魅力と大バエの景観

1 長崎県北近隣地区ファミリー層

灯台の存在は知っているし、素敵な景色であることは知っているけれど家から車で近いのに、なかなか行く機会がなかった。イベントの開催などで改めて行ってみて、こんなに素敵な場所だったのか！と再認識。

2 観光客

今回実施した「灯台ナイトカフェ」で偶然に参加した観光客も。時間と共に移り変わる景観の美しさに、4時間も滞在してしまうなど。灯台と景観は観光客の滞在時間を伸ばすには十分な魅力がある。

3 キャンパー・バイカー

そもそもの「映える」魅力を持った大バエ灯台に、イベントをきっかけに来訪者が増えることは必然。定期的に行けることが活性化に結びつくと実感。



良かったこと



地元の皆様がこの場所を改めて訪れる機会を創生できたこと、今まで見る機会がなかった灯台の灯りを見て、改めてこの場所の魅力を再認識してもらうことができた。

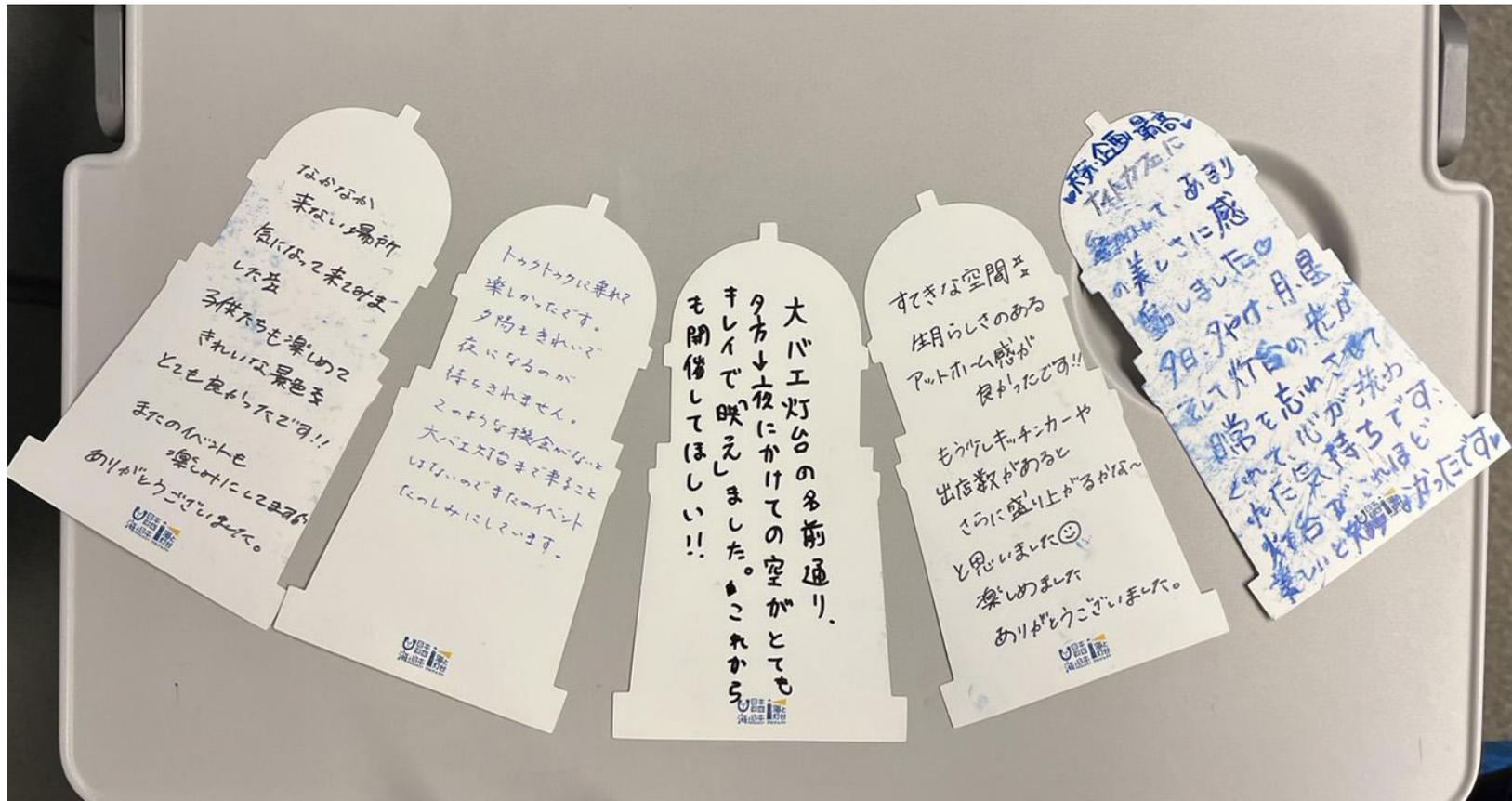


灯台そばのでゆっくりできる素敵な空間を作り、イベントを開催することができると立証できた



反省点・改善案②

会場内にトイレが作れなかったこと。
仮設トイレを今後毎回設置するには金額がかかってしまうこと。



チャネル

～顧客に事業の価値を届ける
経路、確認する経路～

地域住民協力の活性化

地域住民の理解と今後の協力を得て活性化するために、丁寧な住民説明会と懇親会を実施。

認知の獲得

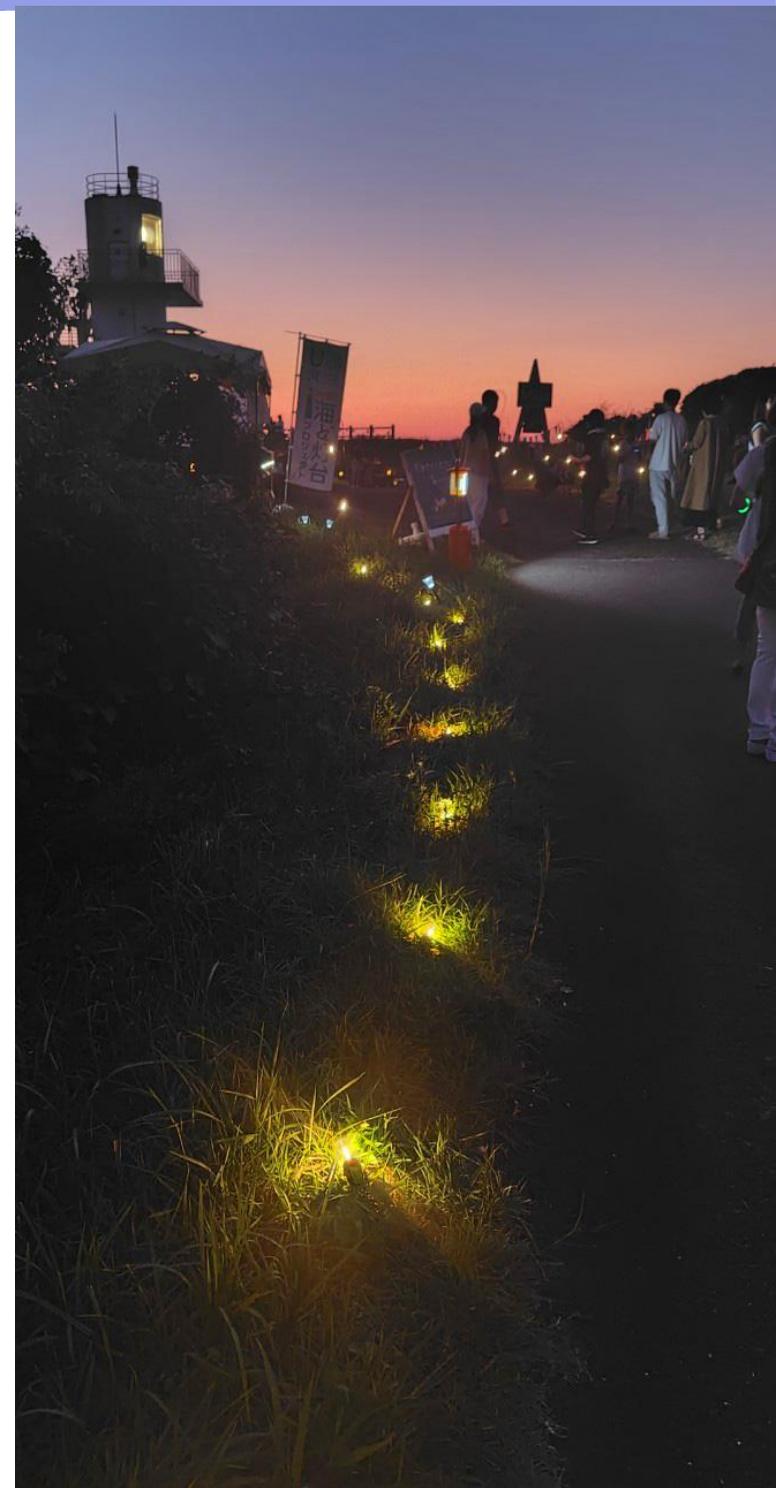
ポスター、チラシ、Instagram等SNS、マスコミ（リリース配信）、主催者・協力店の発信。
佐世保市観光コンベンションセンター等近隣観光課の協力による周知拡散。

再訪の獲得

思い出に残るメッセージを残すことでリピートの機会を発生させる

興味関心の獲得

イベントの開催情報と魅力ある写真や動画をウェブ、パンフ、YouTube動画で発信。



住民協力の活性化、認知・興味関心・再訪の獲得のために

事業の価値を届ける経路、確認する経路として実施したこと

1 住民説明会の開催

地域住民の皆様の理解と協力の活性化のために
8月25日および2月26日に住民説明会を実施。

2 灯台ナイトカフェの実施

9月7日8日に「灯台ナイトカフェ」を実施
両日共に100名以上の来場がありゆったりと灯台タイムを楽しんでいただいた。

顧客との長期的な
関係構築のために
実行できる施策

03

大バエ鼻灯台園地の整備

1 生垣の撤去

現在活用されていないロータリーの生垣を撤去

地元住民の要望も受けて、ロータリーとして活用されていない、人が集まるには邪魔になってしまう生垣を撤去

2 ウッドデッキ柵の設置

ステージとしても活用できるウッドデッキ

崖側の半分にはステージとしても活用でき、安全柵にもなるウッドデッキを設置。今後開催するイベントでステージがわりに利用できる他、イベント開催時以外には憩いの場所としても訪問客に利用してもらうことができる。

3 願いを詰めるガビオン柵

願いを書いた石を詰めて完成させるガビオン柵

近くの御崎海浜公園に設置した海ゴミ回収ボックス「kujira no onaka」にゴミを入れた後、その浜の石に願いを書いてこの園地のガビオン柵に詰めてもらう「善行を積んで願いの石を摘もう！」願いの石のガビオン柵を設置。



生垣の撤去と役割のある2種類の安全策の設置で集いやすい園地に整備

灯台園地には昔使われていたロータリーのための生垣があり、過去のイベント実施の際にせっかくの園地を広く使うことができていなかった為、この生垣を撤去した。

また陸側の崖には柵がなく、トラロープなどで対応せざるをえなかったため、崖側に柵を設置し、安全にゆっくり過ごしてもらえる空間づくりを実施した。



ステージとしても活用できるウッドデッキ



崖側に設置したウッドデッキは、イベント時にライブやダンスなどのステージとして使用できるようにし、今後（春～秋）月に一度程度開催するイベントで活用する。通常時もくつろげる空間として来訪者に解放する。

ステージとしても活用できるウッドデッキ



ガビオン柵には（倒れないよう1/3程度石を詰めてあり）来訪者が石に願い事を書いてこの柵に詰めてもらう「石に願いを、未来に光を」という意味を込めて設置。下部には協賛プレートを募集し、希望の刻印をしたプレートを設置。小学生の卒業記念や家族へのメッセージなど約80枚のプレートを設置。継続募集していく。

事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

2月26日、今後の灯台前の園地でのイベントについて
地域住民や青年部と意見意見交換会を開催

人

事業企画プロデューサー、事業進行ディレクター、イベント運営スタッフ、広報スタッフ、経理スタッフ、協力者・企業・団体、平戸市、佐世保市、長崎県、佐世保海上保安部

物

レンタルライド（トゥクトゥク）、椅子・発電機等の備品、照明器具、発電機、ポスター・パンフ・Instagram・動画・グッズなどのPRツール

情報

ヒアリング（ターゲットとなりうる客層が何を求めている、何をこの場所で共有することができるのか、地元住民が求めているもの、求めていないものを聞き取り）



1 人

コンソーシアムメンバーが中心となり地元の人を巻き込んだ体制

- 平戸市市長
- 平戸市観光課
- 平戸市生月支所
- 生月まちづくり運営委員会
- 山田館浦地区まちづくり運営委員会
- たち浦漁協、生月漁協
- 御崎地区の人々

2 物

2灯台と生月を活性化するために

- 7人乗りトゥクトゥクの導入 (1台)
- 灯台園地の整備
- 灯台園地でゆっくりくつろぐためのイス、テーブル、ブランコ、ロッキングチェア

3 情報

情報の発信

- 情報の発信力不足

整備完了のお披露目会を実施



大バエ園地整備完了のお披露目会イベントを実施。当運営委員会の理事長である平戸市長よりコメント。海上保安部より航路標識団体任命式も執り行われ、巡視艇「かいどう」もお祝いに駆けつけ放水実演で会場を盛り上げてくれた。

250名ほどの来場者で、天気も恵まれ、会場に一体感の生まれる、よいお披露目会となった。

良かったこと



この整備を行なったことで地元の方々が今後こんなことやあんなこともできると未来への期待感が膨らんだ



地域の壁を越え、生月島の人々の交流ができ一体感を育むことができた

反省点・改善案



- ・情報の発信力は引き続き課題（当日NHKの取材が入る予定であったが、他の事件発生により急遽キャンセル）
- ・イベント継続のための収益性を高める施策を引き続き検討する必要がある

02

許認可

許認可

灯台ナイトカフェ

自然保護官事務所…催しの許可
海保…国有地および灯台使用許可
保健所…飲食提供許可

大バエ鼻灯台園地の整備

市…市有地使用許可
自然保護官事務所…設備配置許可

1 自然公園法の認可

国立公園内の整備のため事業執行認可の申請が必要

大バエ鼻灯台のある園地は西海国立公園内にあるため、管轄の佐世保自然保護館事務所を通して環境省に申請する必要があった。申請には詳細な図面、残土計算、色彩の計画等細かく書類で申請する必要があり、書面の作成に数ヶ月を要した。さらに、この園地の所有が（県、市、個人、海保）どこに属するのか、属する場合の借地契約など、必要な手続きがあり、申請後も認可まで約2ヶ月近くの期間が必要だった。

2 催しの実施の申請

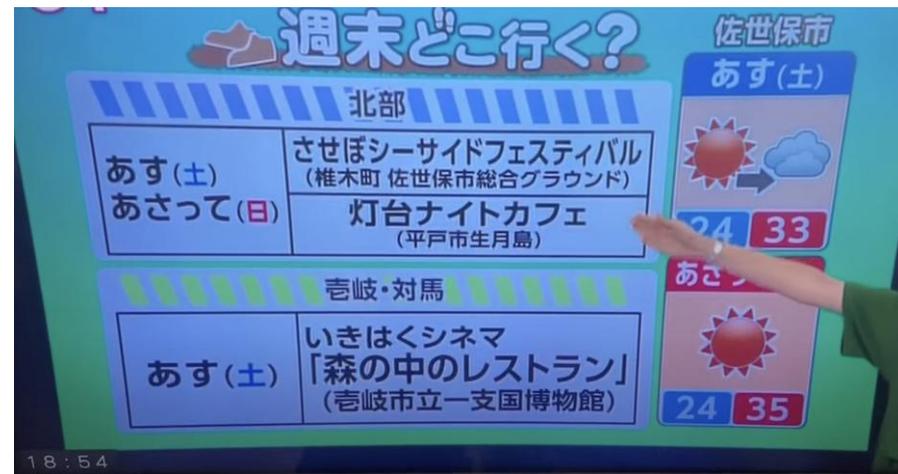
国立公園内のイベント実施には自然保護官事務所、市役所、管轄消防署への申請が必要

市役所や管轄消防署以外に自然保護官事務所へ、催し実施の申請が必要だった。つつい準備に注力してしまうけれどもこの申請は特に自然保護官事務所に30日前までに申請する必要があり、書類の準備も慣れていないと作成に時間が必要。ただし、年間計画を立て定期開催するのであれば、先んじて準備することが可能である。

メディア露出



2024年9月20日
長崎新聞



2024年9月6日
長崎文化放送



2025年2月26日
長崎文化放送

今後について

A. 事業について

課題

「灯台デモクラシー」と銘打ち
株式会社ガッタライが中心となって定期的に
イベントを開催

様々なコンテンツがありすぎるのでいくつかをテスト的に開催しつつ、
ベーシックな人気イベントを構築していく必要がある



施策

- ◎季節によって需要のあるイベントを実施
- ◎すでに活発な「釣り」や「バイカー」の人気ショップとの
コラボ企画を実施するなど、ゼロからの構築ではなく、
様々な団体と組んで実施する
- ◎イベントを実施するのはガッタライだけでなく、
地元まちづくり運営協議会や他団体にも利用可能とする。

B. 実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

課題

2月26日に実施したような地元有志との
意見交換会を実施し、協力団体を募る

2月26日は生月支所3階の会議室にて約40名の地元企業、議員、漁協、ユー
チューバー、地区長などと意見交換会を実施。活発な意見交換ができた。



施策

- ◎今後も定期的に意見交換会を実施し、地元の企業や個人と繋がり
を持って情報交換をしながら活性化を図る。

C. 収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

課題

収益を産む仕組みを作る

実施コンテンツにより収支の内容が変わってくる。
ベーシックな収支の確立が必要である。



施策

- ◎「入場料」は徴収できないので「参加費」という形での
売り上げがあがるよう工夫する
- ◎「募金箱」も実施し、「募金」したくなるよう内容を充実させる
- ◎トックトックの利用料、乗車賃も事業の収益として確立させる

今後2025年4月以降は、地元出身の2人を中心としたガッタライが
「灯台デモクラシー」と銘打ち
生月の魅力を活かした様々なコンテンツのイベントを（4月～11月の期間中）定期開催

【今後の計画】 灯台デモクラシー

地元企業や住民の方々とは協議しながら様々な
コンテンツのイベントを定期開催！



～ 光がつなぐ、みんなの場 ～

大バエ灯台が新しくイベントスペースへと生まれ変わります！
『灯台デモクラシー』と銘打ち、民主化や自由の意味を持つこのプロジェクトをもってこの
地域に光を灯します。ともに活動できる仲間も募集しています。お気軽にご相談ください。

毎月イベント開催！！

- 3.9 (SUN) お披露目会
- 4.19 (SAT) バイクツーリング
クラブ誘致
- 5.17 (SAT) 釣り大会

COMING SOON!

お問い合わせ：株式会社ガッタライ
Camp Base IKITSUKI SUN SEA
(旧御崎野営場) 050-5536-3589



サンシー生月 Instagram▶



事業名：灯台の灯りで未来にツナゲルプロジェクト

助成金終了後、本事業は新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
✓	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局